

NUAZU LIONS CLUB

# LION

“温故知新” 拡げよう真心の奉仕

追悼

L・勸山 弘  
「一隅を照らす」



NUAZU LIONS CLUB

会報 No.755 [www.numazu-lionsclub.jp](http://www.numazu-lionsclub.jp)

02

February 2019

皆様、新年あけまして  
おめでとうございます

**清**

々しい新年をお迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、皆様には大変お世話になりありがとうございました。お蔭様で前期のクラブ運営・事業を滞りなく無事に進めることが出来ました。

皆様に心から感謝申し上げます。

昨年は、全国的に地震・豪雨・台風・猛暑などの自然災害の脅威を痛感した1年でした。また、当クラブではL. 勸山弘、L. 横山業のお二人の偉大な先輩を続けて失うという残念な年でありました。改めてお二人のご冥福をお祈りいたします。

8月の納涼例会と12月のクリスマス例会は、家族参加の例会で、大勢のご家族も参加され親睦を深めることが出来ました。

10月のアクティビティ月間には、沼津ライオンズクラブの継続事業である献眼登録を行い、57名の献眼登録を頂きました。特に、「ふくseeぬまづ福祉まつり」が開催されていたキラメッセぬまづでは、43名の登録を頂きました。福祉まつりに参加して献眼登録を行うことに着目した委員会の皆様の発案がこのように多くの献眼登録に繋がったものと思います。



“温故知新” 拡げよう真心の奉仕  
さらなる奉仕活動の発展を

本年度は、「温故知新 拡げよう 真心の奉仕」をスローガンに掲げ活動しています。沼津ライオンズクラブは、50年以上にわたりアイバンク運動を続けてきました。昨年3月に発足した、献眼運動推進チームの活動は、献眼運動の推進のために、調査・研究・勉強会・懇談会などを当初の計画に基づいて進めています。諸先輩方のお話に耳を傾け、今の時代に即した若いメンバーの意見も積極的に取り入れて、アイバンク運動を多くの方々に認知していただき、



一人でも多くの人に献眼をしていただけるよう活動を進めていきたいと思っております。



“  
積極的な奉仕活動が  
クラブのさらなる発展を  
生み出す力となる”

今年度も残り半年  
全力で奉仕活動を

今年度は、これまでL. 勸山を含め、4名の方々に尊い献眼をしていただきました。5LCの献眼当番は、4月・5月・6月です。引き続き宜しくお願いします。

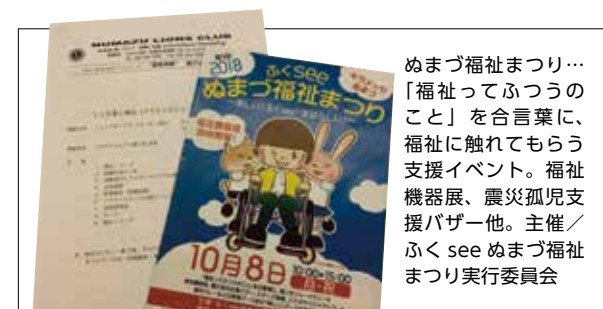
残り半年となりました、本年も皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いします。

皆様のご健勝・ご多幸と本年が素晴らしい年になることを祈念いたします。

## アクティビティ例会 10月第1例会

10月8日体育の日に視力福祉委員会によるアクティビティ例会が行われました。キラメッセぬまづで開催された「ふくseeぬまづ福祉まつり」に献眼登録ブースを設けたことで、沼津市民そして福祉関係者へ献眼登録の大切さをアピールすることができました。また、沼津駅北口、南口にも登録ブースを設け、市内3か所ですべて同時にアピール活動を行うことでより多くの登録者を得ることができました。

1 沼津駅南口での献眼登録ブース。会長自ら声をあげ、登録の大切さを市民に訴えました。2 キラメッセぬまづに設置した献眼登録ブース。市民だけでなく、同時開催の「ふくseeぬまづ福祉まつり」に出展していた福祉関係者へのアピールもすることができました。3 沼津駅北口に設置した献眼登録ブース。今回多くの登録者を得ることができました。4 メンバー全員で大きな声で登録を呼びかけ、ティッシュを配布。献眼を少しでも多くの方に知っていただくきっかけづくりとなりました。5 杉澤委員長によるアクティビティの説明。



ぬまづ福祉まつり…「福祉ってふつうのこと」を合言葉に、福祉に触れてもらう支援イベント。福祉機器展、震災孤児支援バザー他。主催／ふくseeぬまづ福祉まつり実行委員会

## SCENE

# アクティビティを通じて奉仕活動を 10月-12月 例会報告

10月の視力福祉委員会による献眼登録活動、小学校、中学校では市民憲章額贈呈がありました。そして12月には恒例の青少年委員会による千本浜清掃アクティビティ。2018年の後半は活発な奉仕活動が続きました。

## ライオンテーマー担当例会 10月第2例会

10月18日、リバーサイドホテルで開かれた10月第2例会は、ライオンテーマーであるL.木村幸男による担当例会でした。頼重市長様による「私の思うこれからの沼津」をテーマとした講演が開催されました。

市長自ら沼津市について語っていただく貴重な機会となりました。



沼津ライオンズクラブメンバーも関心の高い、これからの沼津市。市長自ら講演されるという貴重な経験となりました。沼津市の持つ問題点、そして将来性について論議され、クラブの奉仕活動における新たな展開を考えるきっかけとなりました。

ZC 訪問例会  
11月第1例会

11月1日沼津リバーサイドホテルにおいて開かれた11月第1例会は、ZC 訪問例会でした。今年度の334-C地区3R・1Z・ZCは我が沼津ライオンズクラブのL.赤堀。他クラブのアクティビティを知り、良いものは真似ていくつもりで奉仕を行うことが重要と講演。



1 334-C地区3R・1Z・ZCのL.赤堀による講演。2 334-C地区3R・YCE委員のL.橋本による講演。他クラブにゲスト参加することで、新たな奉仕を知ることができた。青少年への奉仕活動も良いアクティビティが多数ある。沼津でも実行し、大きく展開することが必要と講演。3 ZC、地区委員のお二人も今日はゲスト席へ。4 在籍30・20・10周年者に祝いの品贈呈。L.野田、L.土屋達郎、L.市川、L.杉山によるローア。

LCIF 委員会担当例会  
11月第2例会

11月15日沼津リバーサイドホテルで開催された11月第2例会。LCIF 委員会担当例会として、美浜ライオンズクラブ所属、LCIF 国際委員・エリアリーダーL.榎本舜治をゲスト講演者としてお招きし、LCIF への知識を深める講演が行われました。



1 LCIF 国際委員・エリアリーダー（西日本担当）であり、334-A地区5R・1Z 美浜ライオンズクラブ所属のL.榎本による丁寧な解説。2 「LCIF キャンペーン100」についての講演が行われました。3 スライドを使った解説。LCIFの重要性を再確認することができました。4 例会の開始前に故L.勸山弘の御霊に黙祷がさげられました。5、6 誕生日、結婚記念日を迎えるメンバーには記念品が贈られました。該当メンバーによるローア。7 LCIF委員会によるローア。お疲れ様でした。



1 学童の選手たち、役員、保護者、メンバーによる人海戦術での清掃は効果も絶大。2 それぞれに軍手とゴミ袋が配られ、浜全体を清掃していきます。大きなゴミも複数で運び出しました。3 青少年委員会、金子委員長による清掃アクティビティ説明。4 会長に励まされ、やる気いっぱいです。5 保護者も一緒になって清掃に励みます。6 清掃が終わったら美味しいお弁当の時間。お疲れ様でした。



## アクティビティ例会 12月第1例会

12月2日に開催された12月第1例会。青少年委員会による恒例の清掃アクティビティとなりました。沼津野球連盟学童部との協働奉仕事業として、大人数で干本浜の清掃です。ライオンズメンバーに加え、学童の選手たち、役員保護者らとともに一斉に清掃を行い、小さなゴミまで回収しました。すっかりと美しい浜の風景に生まれ変わりました。



協働奉仕、清掃アクティビティを終えて。たくさんのゴミ（主にプラスチックゴミ）を回収することができました。各所に集められた不要物は最後には大きな山となっていました。

## クリスマス家族例会 12月第2例会

12月20日沼津リバーサイドホテルにおいて、12月第2例会が行われました。メンバーの家族を招いてのクリスマス家族例会、チャーターメンバーL. 鈴木乾杯とともに始まりました。多くのメンバーファミリーが出席し、じゃんけん大会、ショー、プレゼントイベントなど大変盛り上がる大満足な夜となりました。



1 チャーターメンバーL. 鈴木による乾杯の挨拶。楽しいクリスマスパーティーの始まりです。2 計画大会委員会のよる楽しい企画も盛りだくさん。委員長L. 稲野はサンタクロースに扮し大活躍しました。3 美味しい料理にプレゼント。子供たちも大満足ようです。4 L. 杉澤ファミリー。素敵なお土産も当たったようです。5 2018年最後の例会。メンバーも大いに盛り上がっているようです。6 3世代で参加したL. 土屋達郎ファミリー。7 計画大会委員会によるローア。お疲れ様でした。

# MESSAGE

追悼 L. 勸山弘

## 最前線を走り続けた 沼津献眼運動の祖

沼津ライオンズクラブの軸となる活動、献眼登録活動の基礎を作り、活動を全国へと広げたL. 勸山弘が、11月7日逝去された。

### L. 勸山弘の 歩み

#### 1965年

L. 勸山を中心に、沼津ライオンズクラブがアイバンク登録を提唱。沼津市における献眼活動はL. 勸山を中心に広がっていく

#### 1968年

沼津で初めて角膜移植手術に成功

#### 1979年

国際児童年にはスリランカからの眼球により、日本の子供たち121人が光を取り戻す

#### 1982年

全国アイバンク運動推進協議会（改名前）初代会長就任

#### 1990年

中国にもアイバンク設立の大きな波を起こす

#### 2015年

永年のアイバンク運動の功績により「旭日双光章」受賞

#### 2017年

ライオンズクラブ国際会長による「特別功労賞」受賞

他 沼津市教育委員長、静岡県公安委員長、静岡県仏教会長などを歴任  
NPO 法人日本アイバンク運動推進協議会最高顧問

1919年 沼津市生まれ

1943年 大谷大学文学部卒業

1944年 真楽寺 24代住職に

#### 1964年

1964年 L. 勸山が角膜提供に立ち会いその無償の愛の姿に感銘を受け、献眼登録運動始める

#### 1967年

登録者は600名を超え、同年秋、沼津市で全国初のアイバンク登録大会が開催された

#### 1975年

ライオンズクラブ 302E2 地区  
視力保護盲人福祉委員長就任

#### 1978年

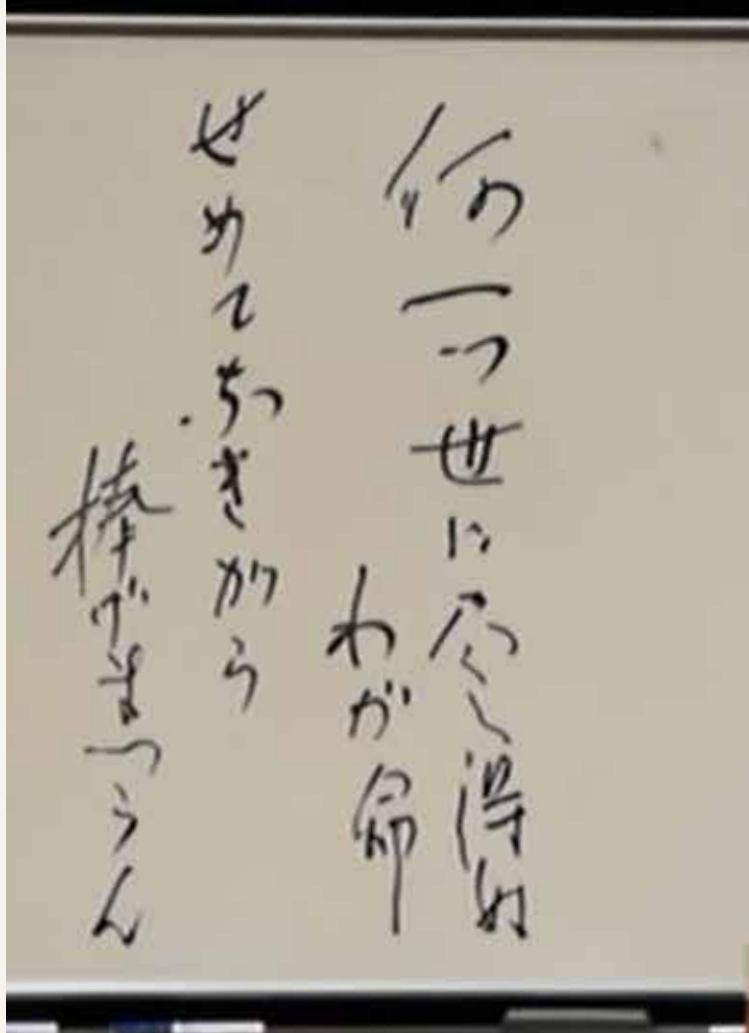
ライオンズクラブ 334C 地区 3R  
アイバンク運動推進特別委員就任  
同年、献眼への想いを胸にスリランカへ渡り、当時の首相プレマサダ氏と対談。日本の子供たちのために角膜200眼の提供を依頼し、承諾を得ることができる

#### 1989年

沼津ライオンズクラブ 30周年事業として角膜障害者と研修医を浙江省から沼津市へ招聘。宇野明彦医師により角膜移植手術が行われ、中国の角膜障害者2名の開眼に成功

#### 2009年

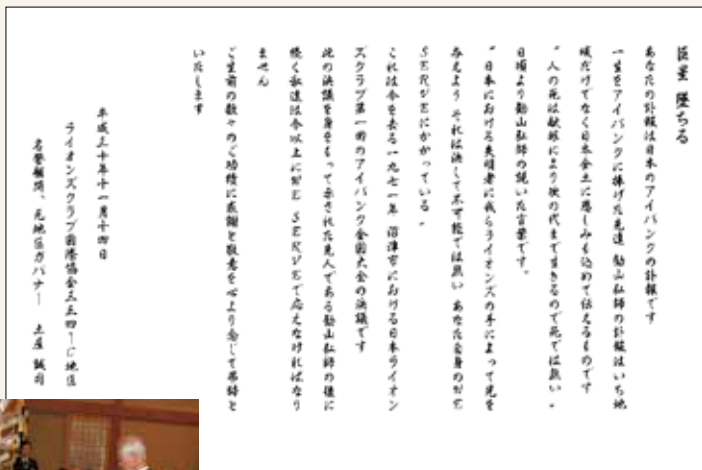
国民の生活の質の向上に貢献した人物を称える「ヘルシー・ソサエティ賞」受賞。  
同年、第一回「今泉賞」受賞



### 沼津から全国へ、アイバンク運動を広げた

### 勸山弘氏、逝去。享年99歳

11月7日、沼津ライオンズクラブメンバーであり、NPO 法人日本アイバンク運動推進協議会最高顧問であるL. 勸山弘がご逝去されました。11月13日、氷雨ふる夜、しめやかに通夜式が執り行われました。県内だけでなく全国から参列者が連なり、その死を哀しむ夜となりました。L. 勸山の功績は、沼津ライオンズクラブの基礎となる献眼運動を作り上げただけではなく、沼津から全国へ、アイバンク運動をはじめとするその奉仕の灯を広げ続けたことにあるのではないのでしょうか。



### 告別式弔辞 L. 土屋誠司

告別式にはL. 土屋誠司による弔辞が読まれました



読売新聞  
2018年  
11月9日付



静岡新聞 2018年11月23日付



静岡新聞  
2018年  
11月9日付



静岡新聞  
2018年11月9日付



沼津朝日 2018年11月9日付

## 宇野医師による 尊い献眼を実施

「たった一度の人生 死もたった一度  
なんです。そのたった一度の死をな  
んとかして次の世代のために活かす。  
これがアイバンク運動なのです」(富  
士山大会講演より) 言葉通り、L. 勸  
山の献眼が執り行われました。摘出  
は宇野眼科医院 宇野明彦医師。



11月14日告別式にて  
小原会長より感謝状の贈呈

## 地元紙、一斉に報道

## 次世代に与えた大きなヒカリ

L. 勸山の座右の銘「一隅を照らす」。著書である生涯学習ブックレット「一隅を照らす」(財団法人モラロジー研究所)にこうあります。「一隅を照らす。その人がいることによって、家庭が明るくなる、職場が楽しくなる、社会が住みよくなる。一隅を照らす人こそ、国の宝である。ろうそくは、わが身を焦がして周囲を照らしています。私どもも限りある人生の限界を超えて、次の世代に遺していきたい。」(一部抜粋)亡くなった11月7日の夜、沼津ライオンズクラブ視力福祉委員会の手配

の元、かねてより約束されていた宇野眼科医院、宇野明彦院長により献眼がなされました。自分の信念を貫き通し、自ら率先して行動することで次の世代の光となり続けた人物の最期の仕事でした。L. 勸山の体験談、感じたこと、そして成し遂げた事柄を常に一番近い場所で見聞きすることができた沼津ライオンズクラブは幸運です。これから、L. 勸山の意志を継ぎ、日本全国の新たなヒカリとなるのが沼津ライオンズクラブの使命となるのではないのでしょうか。



次号「これからの献眼運動とは」  
献眼運動推進チームリーダー  
L. 土屋英治インタビュー掲載予定

# CLUB REPORT

クラブスローガンのもと、奉仕活動を

## “温故知新” 拡げよう真心の奉仕

沼津ライオンズクラブの奉仕活動をご報告。  
寄贈や献眼登録など心からの奉仕を行うことで  
地域への貢献を目指します。

### 5LC

#### 県内ライオンズクラブが 貧困家庭へ一斉支援

10月8日、県内LCが一  
斉に実施した貧困家庭への  
食料支援である「フード  
ドライブ」。沼津5LCでは会  
員約200名が缶詰やレト  
ルト食品などを集める奉仕  
活動を実施、地元紙でも紹  
介されました。食品は「フ  
ードバンクふじのくに」へ寄  
贈されました。



静岡新聞 2018年10月10日付

### 献眼推進チーム

#### 順天堂大学眼科医師、 地元眼科医による勉強会

献眼推進チームは11月8日リバーサイドホテルにて、順天堂大学医学部附属静岡病院眼科 土至田医師による角膜移植の最新技術、これからの献眼登録について講義を開催。また11月28日には、菜菜にて地元眼科医師数名に参加いただき、これからの献眼登録、地元での関わり方など献眼とそれを取り巻く環境への知識を深める勉強会を開催。



### 献眼

#### 4名の方に尊い献眼を していただきました

献眼登録をされていた4名の方がご逝去されました。ご遺族の方により角膜摘出が行われ、故人のご遺志である献眼が実施されることとなりました。



「尊い献眼をして  
いただきました  
ご冥福をお祈り  
いたします」

#### 故 新倉健様 献眼

8月16日ご逝去 8月19日感謝状贈呈

#### 故 勸山弘様 献眼

11月7日ご逝去 11月14日感謝状贈呈

#### 故 坂口秀夫様 献眼

11月12日ご逝去 11月16日感謝状贈呈

#### 故 佐野カウ様 献眼

11月16日ご逝去 11月19日感謝状贈呈

### 青少年

#### 沼津市市民憲章 贈呈式の実施

本年も沼津市市民憲章贈呈式が市内の3校にて執り行われました。市民憲章推進協議会、三役、L.金子青少年委員長が生徒とともに、市民憲章を唱和しました。



10月10日 原小学校  
10月12日 原東小学校  
10月18日 原中学校

### 5LC

#### 中央・駿河合同 クリスマス例会へ

12月25日、沼津中央LC・沼津駿河LCとの合同クリスマス例会にゲストとして参加。他クラブの地元根差した積極的なアクティビティを知ることができました。







訃報

L. 横山 業、ご逝去

沼津ライオンズクラブメンバーで1996～1997年度会長を務められた横山 業様（満89歳）が12月10日ご逝去されました。葬儀は駿東平安典礼会館で執り行われ、L. 土

1929年2月24日生  
2018年12月10日逝去(享年89歳)  
1996-1997年度 会長

屋誠司が弔電を読み上げました。多くの後輩たちを指導し続けてくれた大先輩であるL. 横山。ここに生前のご厚誼を深謝し、心よりご冥福をお祈りいたします。

青少年

第41回 選抜少年野球沼津交流大会



10月8日～14日あしたか球場にて、大会スローガン「いざ、勝負!! ～白球を追い、仲間とともに～」のもと選抜少年野球大会が開催されました。大会の始球式はL. 大川。



献眼

千本ファミリーマラソンにて  
献眼登録活動の実施

11月11日、千本浜公園にて行われた、千本ファミリーマラソン。会場には沼津ライオンズクラブ視力福祉委員会による献眼ブースが設置され、多くの登録をいただきました。



献眼

献眼者厚生労働大臣  
感謝状伝達式

10月28日、千本プラザにて献眼者厚生労働大臣感謝状伝達式が沼津市長頼重秀様、公益財団法人静岡県アイバンク理事長堀田喜裕様を来賓としてお迎えし、沼津5LC主催にて執り行われました。ご母堂が尊い献眼をされたL. 大川、L. 後藤も出席。L. 後藤が遺族代表としてあいさつをされました。



[おわびと訂正]

会報誌 No.754 内、p05 掲載、西日本豪雨義捐金において記事に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。  
誤) 会員73名分の義捐金合計36,500円の寄付が報告されました。(1名500円)  
正) 会員74名分の義捐金合計74,000円の寄付が報告されました。(1名1,000円)

MC委員会